

## 2月11日 「スポーツ楽しい♪」児童らがニュースポーツなどを体験



フライングディスクを体験する児童

イベントを通して運動・スポーツの楽しさを体験する「誰もが楽しめるスポーツイベント」が、市民総合体育館で行われました。県教育委員会が主催で今回2回目。本館ではボッチャやフライングディスクなどのニュースポーツの体験、別館では骨密度や血管年齢などの健康測定、健康体操などが行われ、子どもから大人まで幅広い世代が笑顔で楽しんでいました。ニュースポーツ体験のサポーターとして参加した、総合型地域スポーツクラブ「串間スポーツクラブ」代表の金川敏洋としひろさんは「イベントを通して運動するキッカケになればうれしい」と話していました。

## 2月14日 火を通して豊かな心を育む

串間市LPガス協同組合青年部、県LPガス協会青年部員らが市内の小学6年生（一部の学校は5年生も参加）を対象に福島小学校体育館で火育活動を実施しました。火の大切さや温かさ、協力や思いやりを学んでもらおうと3年ぶりに実施。学校ごとに午前と午後の2部に分かれ、児童たちは映像やクイズで火の歴史などにふれた後、実際に杉の板やひもを巻き付けた棒などを使い火を起こしました。福島小学校6年生の中島想奈なかしま かなさんは「初めてだったので火が怖くて難しかったけど火のありがたさが分かった。これからも火を大切にしていきたい」と話していました。



うまくできなくても「頑張れ!」と声を掛け合い協力していました

## 2月18日 旧吉松家住宅にひな壇飾りを設置



ひな壇飾りは3月末まで設置されます

毎年、旧吉松家住宅で行われている「吉松邸ひなまつり」を前にひな壇飾りの設置が行われました。ボランティアとして参加したのは福島高校の生徒およびインターアクト部の32名と宮崎大学地域資源創成学部3年生の5名と串間市民。参加者は職員の説明に真剣に耳を傾け、協力し合い約3時間かけ10基を完成させました。インターアクト部部長の結城凜乃ゆうき りんのさんは「地域の方々と今回させていただいてもいい体験になった。来て見ていただいた方が喜んでいただけたらうれしい」と話していました。

## 2月2日 串間中バレー部がJA共済杯で初優勝!

昨年の12月から今年の1月にかけて、宮崎市内で行われた「第40回記念大会JA共済杯UMK宮崎県中学校バレーボール選手権大会」。決勝は1月29日に行われ、串間中学校が高原中学校に2-0で勝利し初優勝を飾りました。2月2日、部員10人が市長を表敬訪問し優勝を報告。市長は「明るいニュースでうれしい。目標に向かってこれからも切磋琢磨して頑張ってほしい」と激励。キャプテンの吉田兼周かねちかさんは「優勝できてうれしい。3月に大分県で行われる九州大会では、声を出し合いつなぐバレーをして優勝を狙っていきたい」と意欲をみせていました。



今後の活躍が期待されます

## 2月2日 「鬼は外! 福は内!」すこやかひろばで豆まき会



最後はみんなでハイチーズ!

市総合保健福祉センター内にある子育て支援センターのすこやかひろばで、節分を楽しむ「豆まき会」が行われました。親子約40人が参加。初めに職員が鬼退治の絵本の読み聞かせをし、子どもたちは興味津々に耳を傾けていました。その後鬼が登場すると、驚いてお父さん、お母さんにしがみつき泣き出す子も。それでも豆に見立てたカラーボールを元気いっぱい投げつけて鬼退治をしていました。最後には福の神が現れて、親子は笑顔いっぱいになっていました。

## 2月5日 “ニコニコ(2525)”楽しい「つながるマルシェ」

JR日南線沿線の串間駅と志布志駅の両駅周辺で、「つながるマルシェ」が行われました。列車を利用してマルシェ巡りを楽しんでもらおうと3年ぶりに開催。串間駅近くの道の駅くしまイベント広場では、天ぷらやホットドッグ、コロッケなどの地場産品や軽食、ピアスやバッグなどの雑貨などが並び、多くの家族連れらでにぎわっていました。そのほか、両駅のマルシェで買い物をした人を対象とした抽選会、インスタントカメラ「チェキ」で“ニコニコ”笑顔で撮影した人の中から入賞者に地場産品のプレゼントなども実施されました。友達と訪れた福島小学校6年生の和田星愛せなさんは「たくさんおいしい物を食べられて楽しかった」と笑顔で話していました。



多くの来場者が買い求めていました